

023年10月4日
TOPPAN 株式会社**TOPPAN、CO₂排出量算定システムの第三者認証を多品種で取得完了**
「SuMPO／第三者認証型カーボンフットプリント包括算定制度」を活用して、
パッケージ、建装材、出版・商業印刷物の3品目において認証取得

TOPPANホールディングスのグループ会社であるTOPPAN株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)は、一般社団法人サステナブル経営推進機構(本社:東京都千代田区、代表理事:壁谷 武久、以下 SuMPO(さんぽ))が運用している「SuMPO／第三者認証型カーボンフットプリント包括算定制度」を活用したCO₂排出量算定システムとなる、パッケージ、建装材、出版・商業印刷物の「カーボンフットプリント包括算定システム」の認証取得にむけた取り組みを2022年10月に開始し、このたび完了しました。これにより第三者認証を得た内部検証体制で、個別の製品毎に信頼性の高いCO₂排出量を迅速に算定し提供できるようになりました。TOPPANは、これからも、持続可能な社会の実現に向け、社会やお客さまの要望に迅速に対応するための基盤構築とサービス開発を進め、製品のライフサイクル全体におけるCO₂排出量削減に貢献します。

なお、TOPPANのCO₂排出量算定の取り組みについては、2023年10月4日(水)から6日(金)に幕張メッセで開催される「第3回サステナブル マテリアル展(SUSMA)」のTOPPANブース(小間番号26-50)に展示します。



算定対象のイメージ (左)パッケージ、(中央)建装材、(右)出版・商業印刷物

© TOPPAN INC.

■ TOPPANのCO₂排出量算定の取り組みについて

TOPPANグループは、2021年5月に公表した中期経営計画において、「DX(Digital Transformation)」と「SX(Sustainable Transformation)」によってワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現と企業価値の向上をはかるとし、重点施策の一つとして「環境」への取り組みを掲げ、脱炭素社会を実現する事業を推進しています。

今回、認証を取得したCO₂排出量算定システムのほかにも、TOPPANは、2023年5月より、パッケージのCO₂排出量を自動算出するクラウド型システム「SmartLCA-CO₂®」のサービスの提供を開始しています。「SmartLCA-CO₂®」は、LCA※1に関する特別な知識がなくても、パッケージのカーボンフットプリント※2(以下CFP)を算定できるクラウドサービスです。食品メーカーや日用品メーカー、医薬品メーカー、流通・小売などの製品開発の現場で、パッケージ毎のCFPを把握し、脱炭素に向けた取り組みを進める指標として使用することができます。

「SmartLCA-CO₂®」について

URL: <https://solution.toppan.co.jp/packaging/service/smartlca.html>

※1 LCA

Life Cycle Assessment (ライフサイクルアセスメント)。原材料(資源採取から原材料製造)から製品の製造・使用・リサイクル・廃棄など、製品のライフサイクルにおける投入資源や排出する環境負荷を定量的に評価する手法。

※2 カーボンフットプリント(CFP)

LCA に基づき、製品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクルを通して排出される温室効果ガスの排出量を CO₂ 排出量相当に換算したもの。

* 本ニュースリリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上